

福山のボレー子会社化

物流・アパレルのSRHD

物流やアパレル業などのSRホールディングス（HD、福山市）は3日、衣料品製造販売のボレー



今後の成長を誓う荒木社長（中央）と井野社長（左から2人目）たち

グループ（同市）を子会社にした。ボレーは事業承継が課題となり、ひろしまイノベーション推進機構（広島市中区）とひろぎんキャピタルパートナーズ（同）が全株式を取得し、支援していた。ボレーは福山市に工場を持ち、女性用ポトムスなどを生産、販売する。創業者が高齢となり2022年、同機構などから出資を受けた。売り上げや在庫を従業員も把握しチェックできるよう見える化するなど、経営者個人ではなく組織で経営し、承継できる体制を整えてきた。グループの25

年8月期の売上高は約13億円。従業員約50人。

SRHDは、カシユアルやスポーツ衣料品の生産を手がける。ボレーを迎え、販路の相互活用を期待するほか、海外で行っていた試作品などの製作をボレーの工場で迅速にできると見込む。

この日、SRHD本社で株式譲渡の式典があった。ボレーの井野敏明社長は「SRHDのネットワークを生かし、企業価値を高めたい」。SRHDの荒木栄作社長は「福山に生産拠点があり、スピーディーなものづくりが実現できる」と話した。

（筒井晴信）